

令和6年度沖縄県認知症対応型サービス事業開設者研修カリキュラム

1日目 令和6年9月17日（火）

会場	時間	講義名／研修内容	担当（講師）	備考
会場：沖縄産業支援センター （研修室中 304）	9：00～9：30 9：30～9：45 9：45～10：45 （60分） 10：50～12：20 （90分） 13：20～14：20 （60分） 14：30～17：00 （150分） 17：00～17：10	受付 開講式・オリエンテーション 認知症高齢者の基本的理解 <ねらい> 認知症という病気と症状について、下記の事項に関し、基本的な理解を得る。 ・「医学的理解」－医学的な面から本人の生活に及ぼす影響を示し、生活障害としての理解を深めること。 ・「心理的理解」－高齢者への周囲の不適切な対応・不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解すること。 ・認知症という障害を抱える中で自立した生活を送ることの意味と、それを支援することの重要性を理解する。 認知症高齢者ケアのあり方 <ねらい> 「認知症高齢者の基本的理解」を基に「権利擁護」や「リスクマネジメント」の基本的な知識を付与し、認知症高齢者が、自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援を行うために必要な、基本的な考え方を理解する。 家族の理解・高齢者との関係の理解 <ねらい> 家族介護者のみではなく、他の家族も含めた家族の理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介護から生じる家庭内の様々な問題や課題を理解し、家族への支援の重要性について理解する。 地域密着型サービスの取り組み <ねらい> ・地域密着型サービスの指定基準（特に「地域との連携」「質の向上」）について理解する。 ・認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護の各事業所からの実践報告を通じ、各事業サービス提供のあり方について理解する。 1日のレビュー	事務局 認知症介護指導者 嘉数 世利子 認知症介護指導者 嘉数 世利子 認知症介護指導者 友寄 利津子 認知症介護指導者 棚原 歩美 小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所、それぞれから実践報告	事務局

2日目 令和6年9月18日（水）

会場	時間	講義名／研修内容	担当（講師）	備考
各事業所	8：30～17：30 （480分）	現場体験 各職場へ配属、各事業所で実習 <ねらい> 事業者や介護事業者の視点ではなく、利用者の立場から各事業所におけるケアを体験することにより、利用者にとって適切なサービス提供のあり方、サービスの質の確保等について理解する。 レポート作成 <ねらい> 研修（現場体験を含む）の受講を通じ、①認知症高齢者ケアについて理解したこと、②今後の事業運営に関して取り組みたいことなどについてレポートを別に定める期日までに提出する。	各事業所の管理者 （巡回指導受託事業所） 担当者：事務局	